単機関研究用

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人　堺市立病院機構　堺市立総合医療センター
整理番号	26-616
研究の名称	生理学的指標が不安定な重症外傷で初療室や初療室併設の手術室での緊急手術を行った症例に対する後ろ向き観察研究
総研究期間	研究機関の長の許可日　～　2027 年　03 月　31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026 年 10 月 28 日
研究の対象	2021 年 1 月から 2026 年 6 月までに外傷治療のために当院へ救急搬送となり、呼吸や循環が不安定であり、初療室や初療室併設の手術室での緊急手術を受けられた方
研究の目的	重篤な外傷によって呼吸や血圧などのバイタルサインが不安定な状態を「生理学的指標が不安定な状態」といいますが、この様な患者さんに対しては、1 分 1 秒を争う迅速な治療方針の決定と緊急手術が極めて重要です。当院では、外科治療に精通した医師（Acute Care Surgeon）が初期診療の最初から参画し、初療室に併設された高性能手術室（ハイブリッド手術室等）を活用することで、患者さんの移動による時間ロスをなくし、迅速な手術やカテーテル止血術（IVR）を行える診療体制を整えています。 本研究では、過去に当院でこのような緊急手術を受けられた患者さんの診療経過を振り返り、初期診療体制や手術室環境が治療までの時間短縮や救命率の向上にどの程度貢献しているかを検証し、今後の外傷医療体制のさらなる向上に役立てることを目的としています。
研究の方法	対象となる患者さんの通常の診療で得られた電子カルテ記録が血液検査、画像検査の記録を調査・検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：なし 情報：患者背景（年齢、性別、受傷原因、外傷の重症度スコア）、来院時のバイタルサイン（血圧、脈拍、体温、血液ガス検査値）、治療経過（来院から手術開始までの時間、手術時間、出血量、輸血量、カテーテル治療等の併用処置の有無、CT 検査の有無）、入院後の経過（ICU 滞在日数、在院日数、転帰［生存退

	院・死亡]）等
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人　堺市立病院機構　堺市立総合医療センター 所属：堺市立総合医療センター　救命救急科 研究責任者：茅田　洋之 住所：大阪府堺市西区家原寺町１丁１番１号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦　2026 年　10 月　8 日（第 2 版）